

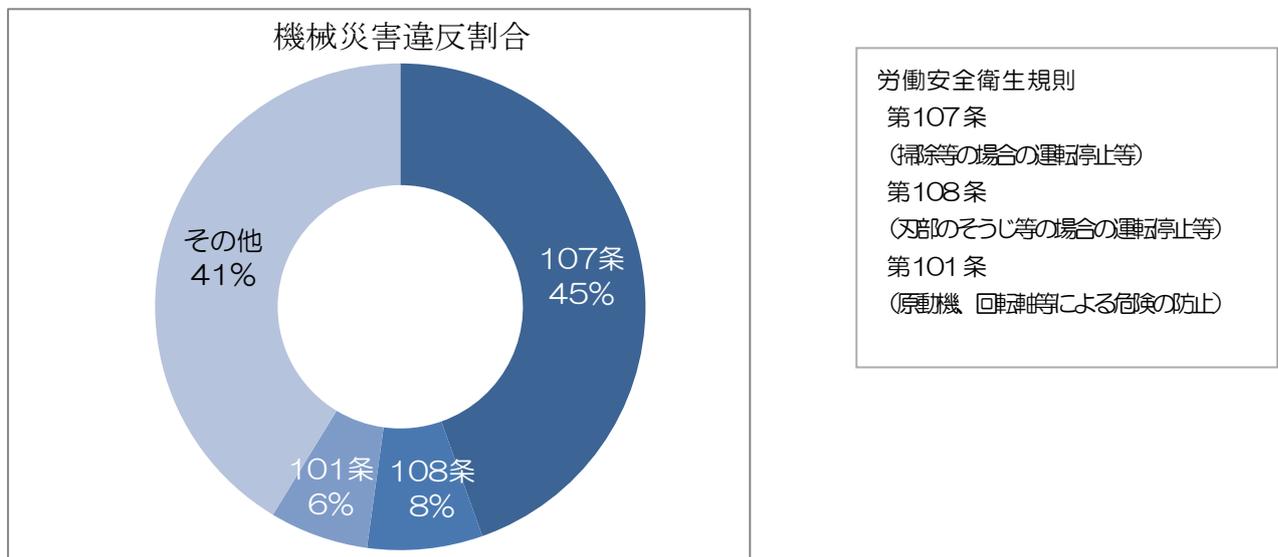
1 機械災害発生状況

令和5年に発生した三重県内の製造業における休業4日以上死傷者数は、607人であり、その内、機械災害による死傷者数は、119人で20%を占めており、三重労働局第14次労働災害防止計画に基づく機械災害防止対策における令和5年の目標値(指数)115人を4人、3.4%上回った。

2 令和5年度に実施した機械災害発生事業場に対する指導に係る分析

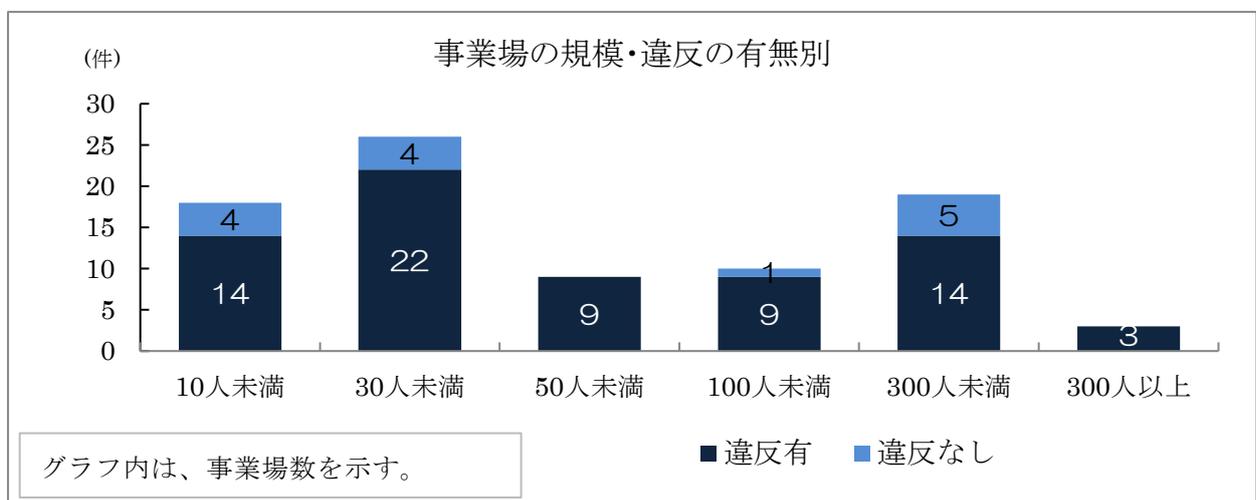
(1) 法令違反条文別

指導を実施した事業場のうち、84%の事業場において法令違反が認められた。なお、法令違反の内、45%が労働安全衛生規則107条(掃除等の場合の運転停止等)違反であった。



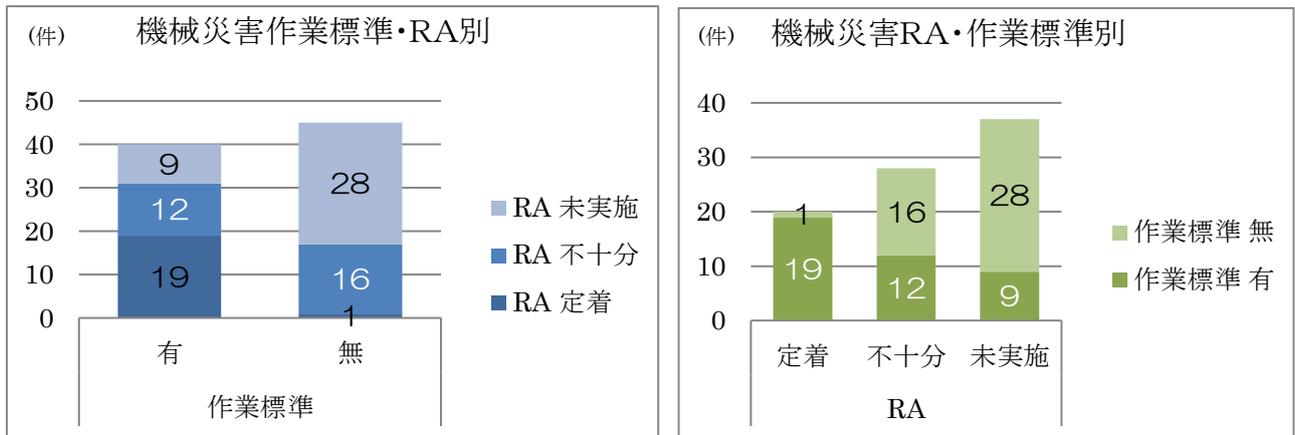
(2) 事業場規模・法令違反の有無別

いずれの規模においても、法令違反が認められ、その内10人以上30人未満の事業場が最も多く26件、31%を占め、10人未満の事業場を含めると52%を占めている。

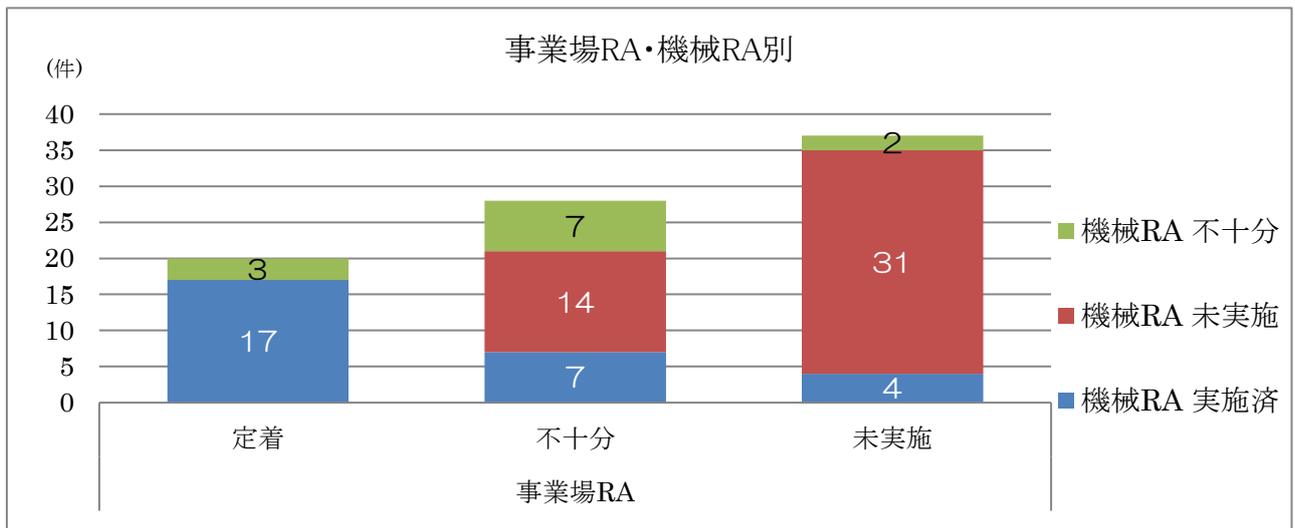


(3) 作業標準の有無、リスクアセスメントの実施状況等別

① 作業標準の未作成(無)が 45 件、53%、リスクアセスメントの未実施及び不十分が 65 件、76%であった。

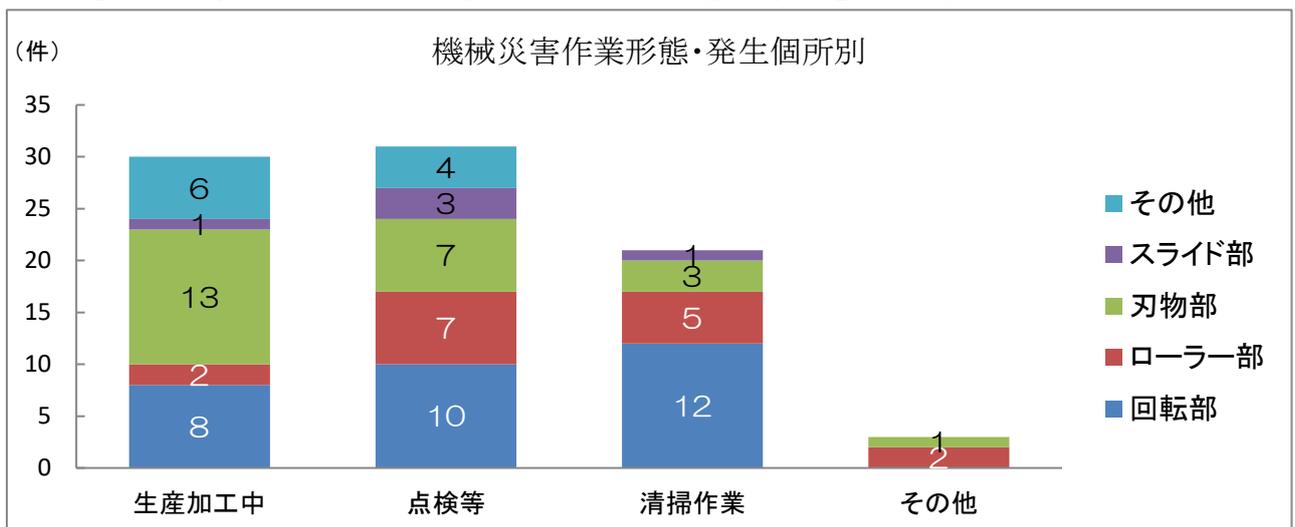


② リスクアセスメントが不十分な事業場 28 件の内、21 件、75%が災害を発生させた機械に係るリスクアセスメントが不十分または未実施であった。



(4) 作業形態、発生個所別

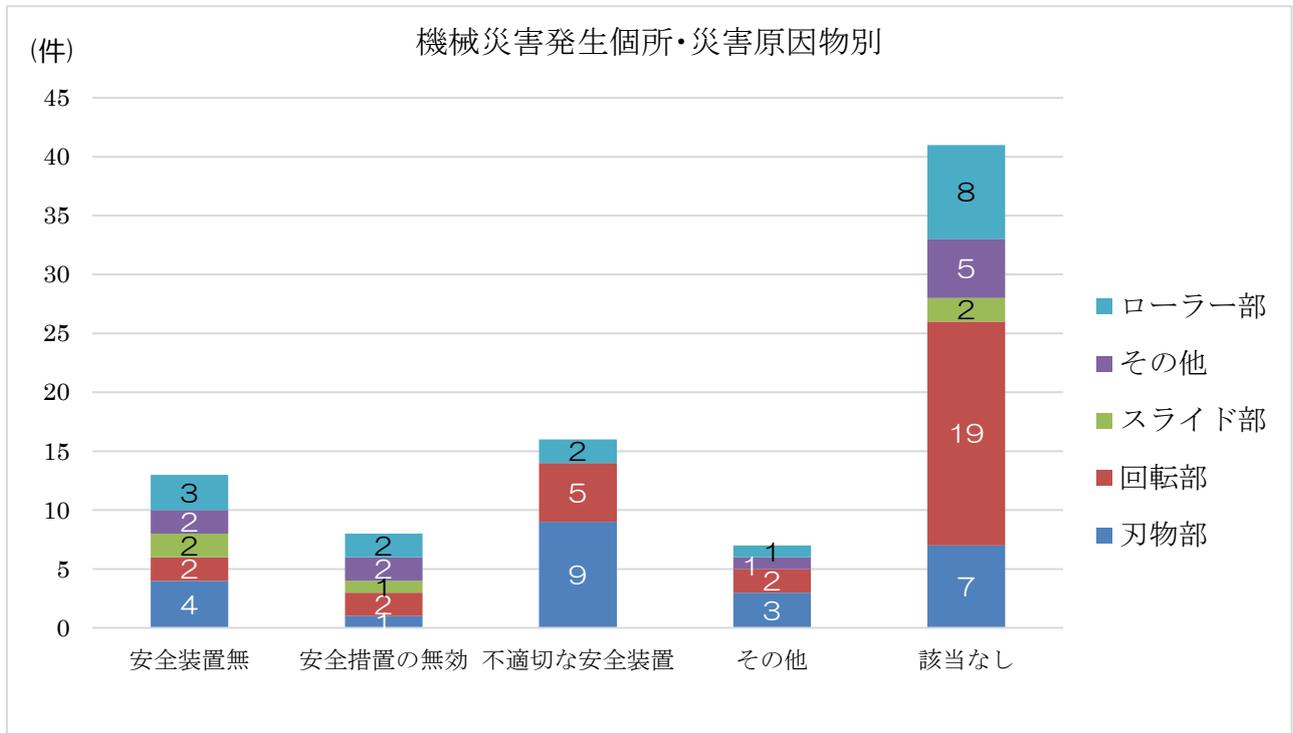
作業形態別では、生産加工中、点検等において災害が多く発生した。
発生個所別では、回転部、刃物部において災害が多く発生した。



(5) 発生個所、災害原因別

災害原因別(不安全状態)では、安全装置無の場合が 15%を占め、安全装置の無効と不適切な安全装置を含めると 44%を占めている。

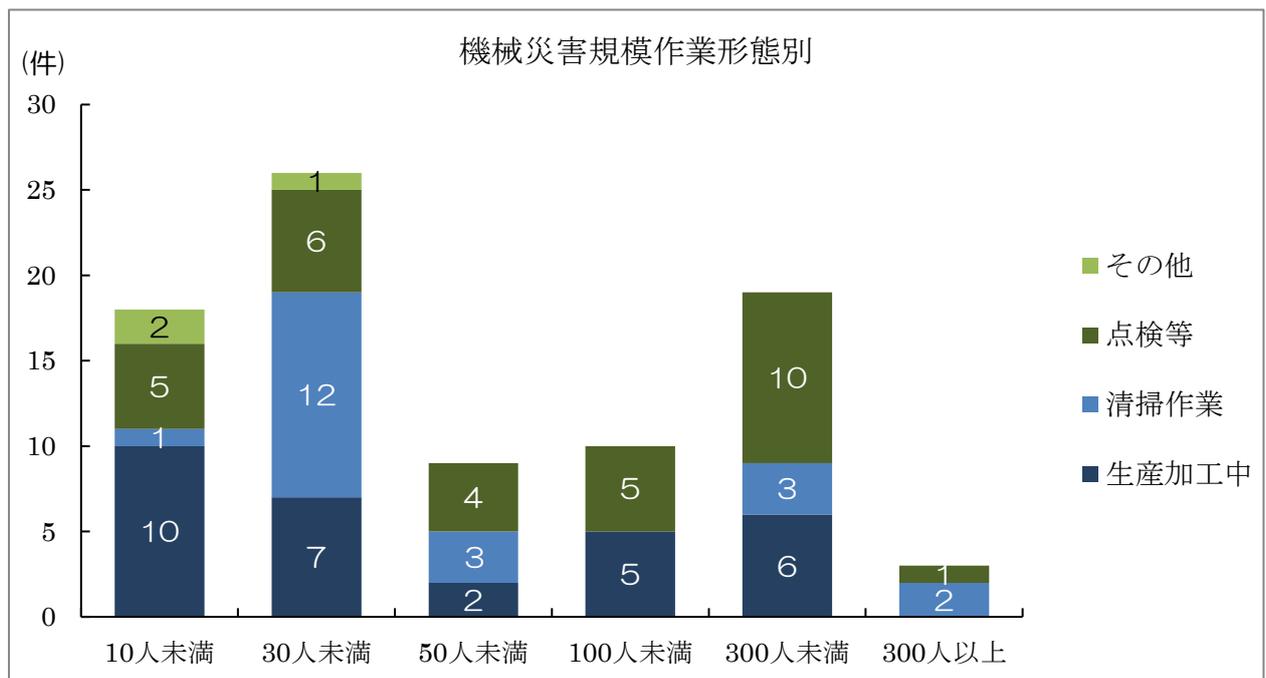
一方、安全装置を有していても、いずれの個所でも災害が発生した。



(6) 事業場規模、作業形態別

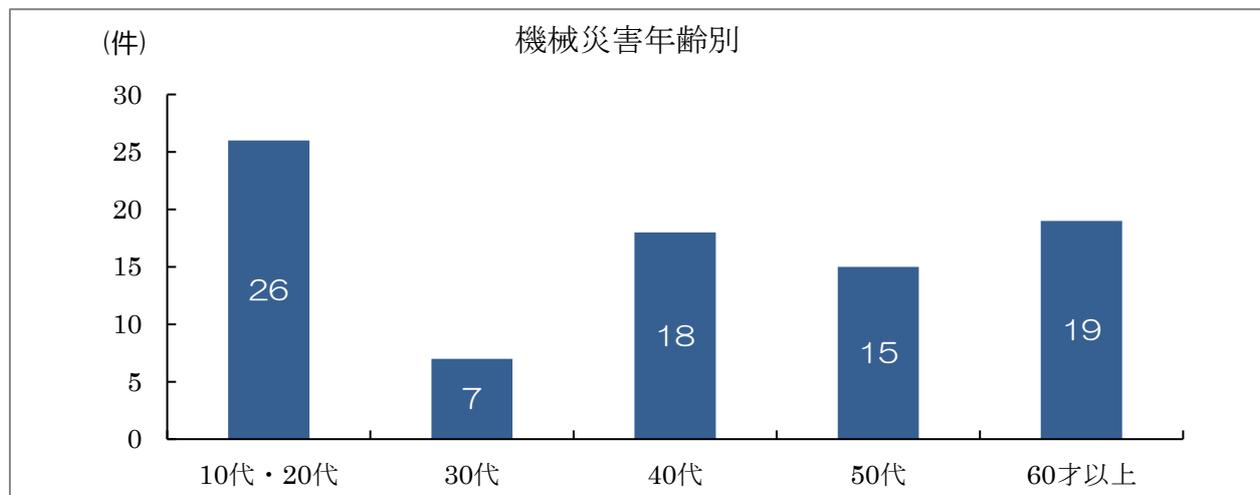
いずれの規模においても、災害が発生し、その内 10 人以上 30 人未満の事業場が最も多く、1~30 人未満で 52%を占めている。

作業形態別では、点検作業が最も多く 36%、次いで生産加工中の 35%となっている。



(7) 年齢別

全ての年代で災害が発生し、10代・20代の若年層において31%、60代以上の高年齢者層において22%を占めている。



(8) 年齢、経験年数別

10代・20代では、経験年数5年未満が多く、50代以上では、経験年数10年以上が比較的多く発生した。

経験年数1～5年が最も多く30件、35%を占め、次いで1年未満が20件、24%を占めている。

